

平成29年度（公財）いきいき岩手支援財団助成

# 認知症にやさしい町づくり推進支援事業

## アクションプラン

# いわて徘徊SOSセミナー in 久慈

今、私にできる**最初の**一歩を一緒に考えてみませんか？



認知症の母とその娘、そして周囲の人々の姿を描いたドキュメンタリー映画（77分）。昼夜の別なく徘徊する酒井アサヨさん（87歳）と、それを見守る長女の酒井章子さん（55歳）。約10年前に認知症と診断されたアサヨさんはその後病状が進行し、現在は章子さんとともに生活しています。映画では二人の生活を追い、認知症とともに暮らすことや、老い、そして人間とは何かを考えさせられます。



日時

平成29年10月28日（土）

12時45分～16時（開場12:00）

参加  
無料

先着300名

（どなたでも可）

場所

久慈市文化会館 アンバーホール 小ホール 岩手県久慈市川崎町17番1号

内容

1 映画上映 「徘徊ママリン87歳の夏」（字幕付き）

2 シンポジウム 「徘徊について、できる事を考えよう！」

終了後アンケートにご協力下さい。

申し込み

電話、FAXで申し込み下さい。

（FAXの際 参加者氏名、住所、電話番号を記入の上、送信してください）

平成29年10月5日（木）より申し込み受付開始

※先着順となりますので定員に達した場合は締め切ります。

問い合わせ

久慈市地域包括支援センター（元気の泉内） ☎028-0014 久慈市旭町第8地割100-1

申し込み先

電話 0194-61-1557 FAX 0194-61-1119

主催：いわて徘徊SOSセミナー in 久慈 実行委員会

共催：久慈市 / NPO法人もりおか認知症サポーターズもりもり会 / 岩手県 県北広域振興局

協力：久慈警察署 / 久慈市社会福祉協議会 / 久慈市民生児童委員協議会 / 久慈地区介護支援専門員協議会 / オレンジの会

後援：岩手県医師会 / 岩手県薬剤師会 / 岩手県看護協会 / 岩手県作業療法士会 / 岩手県社会福祉会 / 岩手県介護福祉士会 / 岩手県介護支援専門員協会

日本認知症グループホーム協会岩手県支部 / 認知症のひとと家族の会岩手県支部 / 北リアス病院（地域型認知症疾患医療センター）

## 当日のプログラム 12:00 開場

久慈市文化会館 アンバーホール 小ホール

12:45～ 久慈市長挨拶

13:00～14:20 ①映画上映 「徘徊ママリン87歳の夏」

14:30～15:50 ②シンポジウム 「徘徊について、できる事を考えよう」

③アンケート記載 16:00 終了予定

小ホールホワイエ  
(入口付近)

地域の団体のいろいろな  
取り組みをパネル展示し  
ています。

### ①映画上映

「徘徊ママリン87歳の夏」(字幕付き)

# 徘徊 On The Road ママリン87歳の夏

田中幸夫 監督作品  
ドキュメンタリー映画

母娘のズレまくりの掛け合いに思わず大爆笑！  
従来の認知症ドキュメンタリー映画のイメージを変える  
傑作ドキュメンタリーが大阪から生まれました。  
今春の関西三部先行上映では、場内は笑いの嵐。  
舞台挨拶ではママリンとの記念撮影に行列ができ、  
まさに、認知症界のアイドル誕生です。  
不謹慎にもつい笑ってしまう、  
前代未聞の認知症ドキュメンタリー映画！

#### 【過去4年間の徘徊記録】

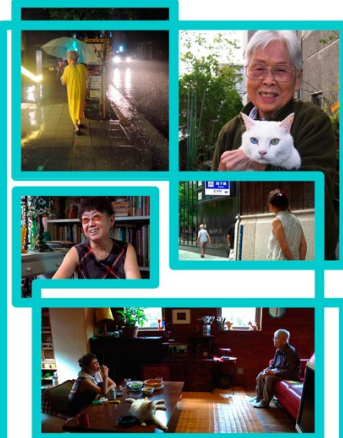
家出回数：1388回  
徘徊時間：1730時間  
徘徊距離：1844km  
最長徘徊時間：15時間/日  
最長徘徊距離：12km/日  
お世話になった交番・警察署：31カ所

#### 寄せられた感想の一部

- ★想定外の大爆笑映画！
  - ★上等の悲劇と喜劇を観たよう。
- ★ママリン、可愛い、面白い、面白い。電信柱にしゃべりかけてるシーンは笑っていいの…
- ★見えない見せない介護の真実を曝け出した勇氣。
- ★この母娘と赤裸々な真実に勇氣付けられる方々が沢山居ると思います。
  - ★ちょっと失礼かなと笑いを押し殺していたら、ものおお～涙が出てきて大変でした。
- ★「認知症？人間も大変だなあ」って猫の表情がスクリーンいっぱい。思わずニコリしてしまいました。
  - ★認知症が怖くなくなります(笑)

認知症だって、  
一生に一回のママリンの老後

大阪北浜。大都会のド真ん中に、ちょっと寂寥の母娘が住んでいる。  
母は認知症。娘は自宅マンションでキャパリーを営む。  
昼夜の別なく徘徊する母と見守る娘の姿は、近所の誰もが知っている。  
徘徊モードが一息つけば、母娘一緒に居酒屋やバーにも寄る。  
そんな一人の生活は6年になる。  
「老いには勝てぬで、徘徊もショートになつてきましたが…」  
不条理な生活をユーモアでしのぐ。  
認知症を受け入れるとは…、老いとは…、人間とは…。



### ②シンポジウム (手話通訳あり)

「徘徊について、できる事を考えよう」

徘徊での行方不明者の数は年間1万5千人とも  
言われています。今、地域で支え見守る体制が  
必要となっています。

あるアンケートによると「困っている人がい  
たら求められたら助ける」との回答が70%ある  
のに対して、「当事者になった際助けを求められ  
る」と回答した人はわずか5%しかいません。

認知症にやさしい町づくりには「支援する、  
される」どちらの立場も歩み寄る事が必要で認  
知症の人や介護者がSOSを出しやすい地域づく  
りを考えていく必要があります。

認知症の問題を他人事ではなく自分の事とし  
て「いろいろな立場の方」にシンポジストとし  
て体験や思い、取り組みについて紹介していただ  
きます。ぜひ参加者皆さんの明日からの第一  
歩(アクション)につながるようなシンポジウ  
ムを開催いたします。

シンポジスト(予定)

介護家族、医療・介護専門職、地域の方  
行政等…

### 当セミナーにつきて

「いわて徘徊SOSセミナー」は身近な地域にどんなサービス、もの、ひとがあったら良いのか…そ  
して、それぞれの立場で「私に出来る身近な取り組み」について参加者みんなで考え、認知症の人も  
そうでない人も住みやすい町づくりの為に一歩(アクション)を進めていくセミナーです。

セミナーでは地域で認知症の見守りについてアクションを起こしたい人を発掘し、担い手となる人  
の支援や繋がりを広げていきたいと考えております。

そのためシンポジウムも含め、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

ぜひ、今、私にできる最初の一歩をみんなで共に考えましょう！